【算数】

「※」は学習するときのヒントです。

8まいや20まいより、も っとたくさんの折り紙を使 いたいね。

<学習内容>

◆「2けたの数のわり算」(教科書 75~76 ページ)

折り紙が140まいあります。1人に40まいずつ配ると、何人に分けられるでしょうか。



- (1) 下の数直線に、赤ペンで数や矢じるしなどを書きくわえて、どんな式になるか考えましょう。
 - ※図を使うと、考えたり表したりする力が身につくよ。
 - ※教科書165ページ「数直線のかき方」をさんこうにしてみてね。



式

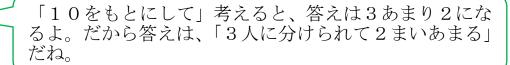
※「10 をもとにして」考えると、あまりが出そうだよ。



(2) ゆうきさんともえさんは、あまりについて次のように考えました。



ゆうきさん





「2まいあまる」で、本当にいいのかな。もっとたくさんのまい数があまると思うよ。

あなたは、ゆうきさんともえさん、どちらの考えに近いですか。下 の四角の中に、自分の考えを書きましょう。

計算では「3あまり2」だけど、あまりは2まいでいいのかな。



「10をもとにして」考えた時、あまりはどうやって求めるの?

140まいの折り紙を1人に40まいずつ配ると、何人に分けら (3)れて何まいあまるか考え、図と言葉で説明しましょう。

答え

たかしさんは、次のように考えました。 (4)



もし、130÷30という計算でも「10のまとまりが 何こ分か」と考えれば、あまりを求められそうだね。

たかしさん

130÷30の計算のしかたを考え、図や式、言葉で説明しましょう。

教科書76ページ3を、ノートか取組シートに書きましょう。 (5)

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ◆ 2 けたの数のわり算 (教科書 P75~P76)
- 140÷40 というあまりが出る計算も、「140 は 10 が 14 個分で、10 のまと まりを4個ずつ配ると…。」と10をもとにして考えます。このような活動 を大切にすることで、あまりの数の大きさを捉える力につながります。